



ふるさとの川に昔の賑わいを□□□

生まれ育った川を「昔の姿に戻したい」という想いは故郷を愛する多くの人の願いです。組合では、もう無理だと諦める前に何かできることはないだろうかと考え、様々な活動に取り組みました。

まず、子供の頃から川と親しみ、触れ合う機会を持つため次のような活動を実施しました。

「いきいき学習」でこうろん掛け

—伊久美川の自然探検—

11月10日に島田市立第三小学校の3年生約60名が、身近な川の自然を知るため、伊久美川上流の魚や昆虫・植物などの観察を通して自然についての体験を深める学習を行いました。

当日はガイドの中村さん、講師の岡寄さんの注意、説明を聞いた後、子供たちが『魚』、『植物』、『歴史』の3グループに分かれてペットボトルで作った「こうろん」を仕掛け、各グループが今まで学習してきたテーマに基づいて興味深く川を観察しました。



↑ 熱心に岡寄さんの説明を聞く子ども達



↑ 手作りの「こうろん」掛け

水生動植物や河床の石の観察、水温や流れる水の様子を調べるなどの体験を通して、流域に棲息する魚や植物、自然を育む川の役割

などについて、理解を深める1日を過ごしました。

天然あゆを殖やそう —発眼卵放流—

昨年度まで県補助事業として取り組んでいた鮎の発眼卵放流を、本年度も自主事業として新大井川漁協と共同で実施します。



12月28日、島田大橋下流右岸に約700万粒のあゆ発眼卵放流を予定し、卵が付着

した約40cm四方のマット40枚を昨年同様、1週間程度設置します。

付近には発眼卵設置の標示をしてありますので、安全な事業の実施のため、標示区域には立ち入らないようお願いします。

大きく育て！ニジマス —ニジマス放流—



↑ 放流の様子（長島ダム）



↑ 元気に泳ぎ出すニジマス

11月18日、長島ダム（川根本町）で新大井川漁協と共同でニジマス5,000尾を放流しました。5～6cmほどのニジマスの稚魚が元気に泳ぎながら湖面に姿を消していきました。

来春、成長したニジマスに会えるのがとても楽しみです。

溪流釣り解禁

3月1日（月）

～ 9月30日

※マナーを守って楽しみましょう。

この1年、皆様のご協力を戴きながら事業を進めて参りました。
その概況を報告します。

この1年… 組合の歩み

放流事業

大井川に優良種苗を確保することを第一優先と考え、年度当初から稚あゆに関する情報の収集に努めました。

水温む 4月8日、伊久美川への河口産あゆ 240kgの放流から 11月18日の川根本町へのにじます 5,000尾の放流まで、計画に沿って適時適所に放流を行うことができました。

内容は次の通り↓

放流実績

あゆ	計 2,000 kg
内訳	
大井川本流	1,070 kg
伊久美川	900 kg
大代川	30 kg
あまご	6,000 尾
うなぎ	1,000 尾
にじます	5,000 尾
あゆ発眼卵	700 万粒

情報提供

「行使規則」や「大井川遊漁ガイド」を配布し、遊漁者や組合員に遊漁の方法やマナーについての呼びかけを行いました。また、県内水面漁連と提携して河川や釣りの情報を新聞社に提供し、組合事業については「漁協通信」にその情報を掲載しました。

「漁協通信」は年間3回発行し、組合活動の現況報告を中心に、組合員からのメッセージ・河川に係る各種情報などをお伝えしていく予定です。



鮎の習性をうまく利用した日本固有の優れた漁法『友釣り』…
今夏も多くの釣り人が懸命に釣果を競い合いました。

振興対策

＜県大会＞ 7月5日、県内23漁協の頂点に立ち、通算11回目の優勝を果たした第56回鮎友釣り競技選手権大会。

これまでの多くの先輩たちの努力と研鑽に ↑腕前を競う選手たち（河津川）
培われた伝統の重みと底力を見る思いがしました。



県大会の選手達と大会世話人

＜地区大会＞ 7月18日、梅雨明け前の蒸すような暑さの中、伊久美川で開催した地区対抗及び関係会社親睦あゆ競技大会。前日の雨のためか、水位やや高く、水温もなかなか上がらない中、地区の榮譽を担って選手たちはその技を競い合いました。



↑地区大会の様子（伊久美犬間地先）

団体の部では大井川町地区と東海パルプ、個人の部では2年連続で宮地靖広氏が優勝を飾りました。

＜一般釣大会＞

8月22日、第8回組合員及び一般を対象とした鮎友釣り競技大会が本流鍋島地先で開催されました。



参加した53名の釣り人は皆懸命に流れに棹さし、日頃鍛えた腕を披露しました。この大会では、数々の実績を誇るベテラン村上久雄氏が2位に大差をつけて優勝しました。

漁場管理 —エサ釣禁止区域標示設置—



8月初旬にかけて、鍋島地先ののぼり旗5本と立て看板3本を設置、釣り人に遊漁規則を守るよう注意と協力を呼びかけました。



← 立て看板とのぼり旗
(島田市鍋島)

漁場監視 —川鶉駆除&汚濁水等の対策—

- ◆ 密漁等の違法漁業の防止のため、6月1日の解禁日から1ヶ月間、遊漁者の増える土・日に鍋島～川口地先間の監視を行いました。監視は3～4人編成で行い、違法者にはその都度、規則やマナーを守ってもらえるよう協力をお願いしました。

- ◆ 6月から10月末までの5ヶ月間、専従監視員2名が丹原～新幹線鉄橋間の監視を行いました。

- ◆ 有害鳥類の駆除を4月18日から5月31日にかけて実施。稚鮎などに大きな被害をもたらす川鶉を100羽捕獲しました。近年川鶉の個体数は急速に増加し、生息域も拡大しています。



↑ 鉄塔で休息する川鶉の大群

川鶉が「摂餌できない」環境作りの必要性が関係者から求められています。

- ◆ 汚濁水の対策

河川の改修・災害復旧・砂利採取等の河川工事による汚濁水の発生、瀬替え工事での漁場荒廃などの影響を最小限にするため、工法や施工



↑ 神座水位測定標の維持工事

時期の工夫や改善をしてもらえるよう、国や県、関係事業所に協力を要請しました。また、問題発生時には速やかに現地に赴き、善処への協力をお願いしました。

大井川の課題を協議

—大井川漁場管理運営協議会—

本年、新大井川漁協とともに協議した主な案件について報告します。

1. 第57回県鮎友釣競技選手権大会共催の件
上記大会の開催について、大井川を会場にとの要請を受けその対応を協議した結果、本組合が県内水面漁連と共催することで決定。
2. 一部遊漁者の遊漁料改定の件
一般（組合員以外）の高齢者及び障害者の遊漁料について、通常の5割（現行）→8割負担（改正案）への値上げを検討。
しかし、一部遊漁者のみの単独の改定は望ましくないとの県水産局の判断により、現行料金検討の必要はあるものの、平成26年の漁業権更新時に全体を見直す方向で検討することとした。
3. 「あゆ餌釣区域に一考を」との要望について
本年11月、12月の2回に分けて、『大井川餌釣愛好者一同』から、大井川におけるあゆ餌釣についての要望書が両組合に提出された。
その内容を慎重に協議した結果、両組合それぞれが理事会での協議を経て、改めて当運営協議会にて検討することとなる。
4. あゆ発眼卵放流について
両組合共同で、12月28日に島田大橋下流右岸に約700万粒の放流を予定。

大井川漁場管理運営協議会

大井川水系の資源保護増殖と河川の有効利用を促進するため、漁場の公平かつ適正な管理運営を目的とする両組合の協議機関。

第52回 全国大会

内水面漁業振興策提案&協議

10月22日、内水面漁協の全国大会が岡山市において開催されました。41都道府県から530名が参集。内水面漁業の振興における諸問題を討議しました。



漁場環境の再生にかかる案件が最も多く、次いで川離れや釣り人減少への対策、さらに川鶉や特定外来魚駆除に向けた法整備についてなど、真摯な検討、協議が行われました。

お知らせ

来年度の主要事業（概要）

平成 22 年度 通常総代会

平成 22 年度の総代会の日程が 12 月 15 日開催の理事会の議決により決定いたしましたので、ご案内いたします。

<日時> 平成 22 年 3 月 13 日（土）
午後 1 時

<会場> 島田市民会館 集会室

<議案>

1. 平成 21 年度事業及び収支決算報告
2. 平成 22 年度事業計画及び総合収支計画
3. その他

第 57 回県鮎友釣競技選手権大会

静岡県内水面漁業協同組合連合会が主催し、本組合が共催する上記大会を次のとおり開催します。

<開催日> 平成 22 年 7 月 4 日（日）

※予備日 7 月 11 日（日）

<会 場> 大井川本流

※予備会場 伊久美川

漁業日数の報告

平成 21 年 3 月 1 日付で各役員と総代の皆様にお願ひした 1 年間の漁業日数について、次のとおりご報告くださいますようお願いいたします。

<提出方法>

役員と総代 …平成 21 年度漁業日誌
組合員（未報告分）…組合員名簿の
日数欄に記入

<期日> 12月28日（月）

※ 総代の方は所属地区の地区長までご提出ください。

※ 組合員の新加入者は 4 月末日までに加入申込書をご提出ください

年間業務報告



- 1/8 本年度事業計画策定委員会
- 29 監事会
- 2/5 河口産稚鮎需給調整会議
- 6 第 1 回理事会
- 3/1 通常総代会
- 6 県へ定款変更認可を申請
- 4/11 伊久美川魚道土砂排除工事
禁止区域標示旗と横断幕の設置（川口）
- 16 玉石還元（島田市高熊）
- 18 有害鳥類駆除開始（～5/31）
- 23 島田警察署へ密漁等の協力依頼
- 5/25 第 2 回理事会
- 29 河川監視員会議
- 31 専従監視員の河川監視開始（～6/30）
- 6/1 大井川あゆ漁解禁
役員等の違法漁業監視開始（鍋島～川口）
- 4 大井川漁場管理運営協議会
- 21 伊久美川あゆ漁解禁
- 29 県内水面漁連臨時総会
- 7/5 県鮎友釣競技選手権大会（河津川）
- 18 地区対抗及び関係会社親睦あゆ友釣
競技大会（伊久美川）
- 8/6、9
『あゆエサ釣禁止区域』標示設置（鍋島）
- 22 組合員・一般あゆ友釣競技大会（鍋島）
- 31 監事会開催（平成 21 年度上期会計監査）
- 9/1 投網、たも網漁解禁
- 17 大井川漁場管理運営協議会
- 27 第 1 回あゆ産卵場等実態調査
- 10/2 島田市長に県大会協賛のお願い
- 13 島田土木にて大井川砂利対策協議会
- 16 第 2 回あゆ産卵場等実態調査
- 22 第 52 回全国内水面漁業振興大会に
出席（岡山市）
- 31 第 3 回あゆ産卵場等実態調査
- 11/10 島三小の「わくわく教室」に協力
- 13 第 4 回あゆ産卵場等実態調査
- 25 県内水面組合長会議に出席
- 27 大井川流域委員会（静岡市）に出席
- 30 第 5 回あゆ産卵場等実態調査を実施
- 12/2 大井川漁場管理運営協議会を開催
- 15 第 3 回役員会

